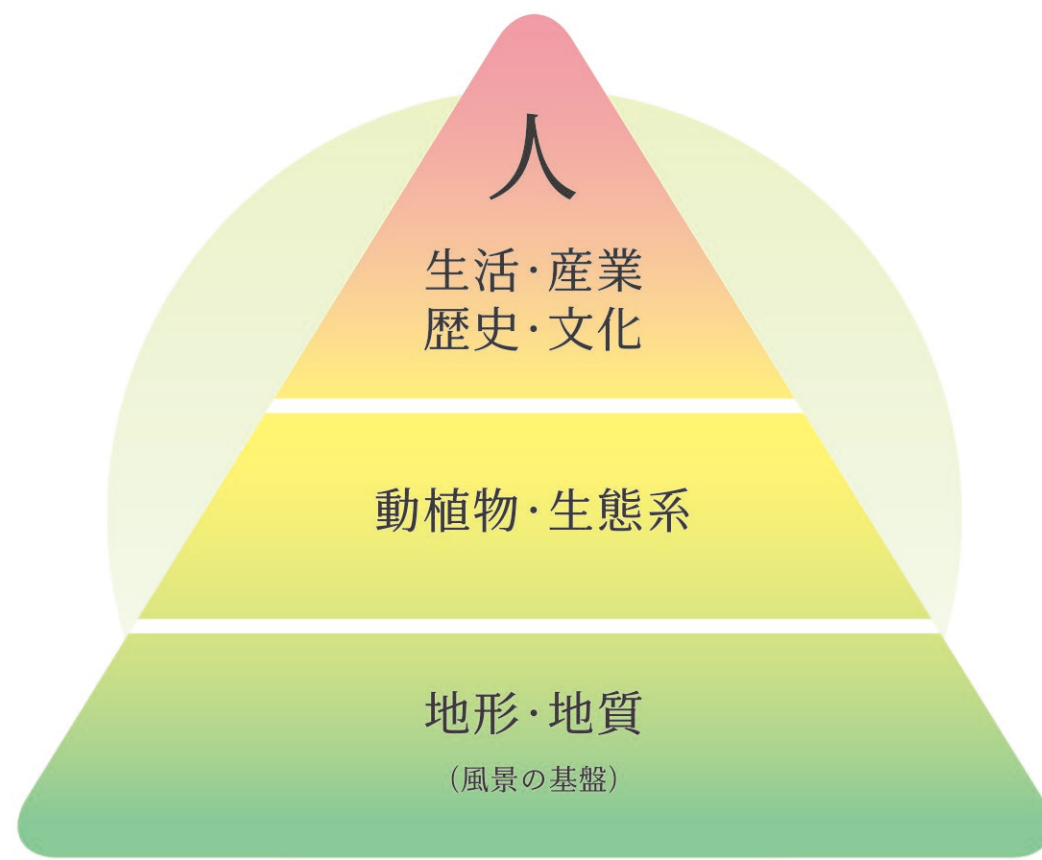




“国立公園”とは 「日本を代表する自然の風景地」



国立公園は、日本を代表する自然の風景地を保護し、同時に自然観察やエコツアーリズムなどにより、自然とふれあえる場として利用していく制度です。

国立公園は、優れた自然の風景地を保護と利用の対象としていますが、風景の基盤となる地形・地質、その上で生を営む動植物や生態系、人間の生活・産業や歴史・文化も含まれています。

これらをうまく活用し、その素晴らしさを伝えるため、歩道や園地等の利用施設の整備やビジターセンターやガイドによる利用プログラムの提供等が行われています。



ビジターセンター

● 日本の国立公園のブランドスローガン ●

その自然には、物語がある。

Stories to Experience – National Parks of Japan –



登山道の様子



自然保護官の解説



保護

地形や地質の保護・保全を行い、地域固有の「地質遺産」を未来に引き継いでいきます。

“ジオパーク”とは 「地質遺産 (Geological Heritage)」を保全・活用している地域

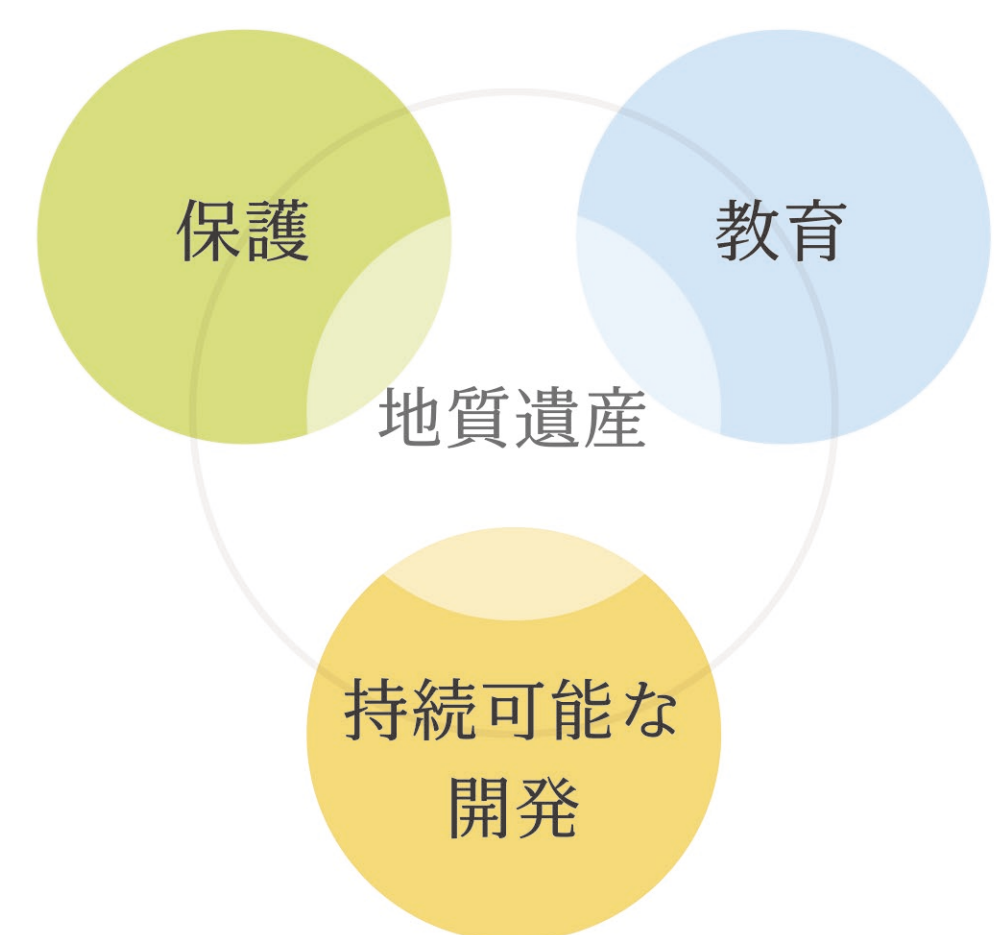


ジオパークは、科学的に貴重な地質や景観などの「地質遺産 (Geological Heritage)」を保護するとともに、教育、ツーリズムなどの推進に活用し、地域の持続可能な開発に寄与することを目的としています。

ジオパークは、主として地形・地質を対象とするものですが、地形・地質はその場所の生態系に大きな影響を与え、また、そこで生活する人々の生活様式や文化にも影響します。このため、ジオパークでは、生態系や地域の生活・文化や歴史なども活動の対象としています。

2015年11月に開催された第38回ユネスコ総会において、世界ジオパークが、「国際地質科学ジオパーク計画 (International Geoscience and Geoparks Program)」の UNESCO Global Geoparksとして、ユネスコの正式事業となりました。

● ジオパークの基本理念 ●



教育

大学、研究所、博物館等と連携し、地質遺産を教育に役立てています。また、調査研究等の成果を防災教育、住民への普及に活用しています。



ジオツーリズム

ジオパークの魅力、子どもから大人まで、分かりやすく伝えるガイドによるツアーを推進しています。



地域振興

“ジオ”をテーマに地場産品を活用した関連グッズや食品の開発等、積極的な地域振興を行い、地域の経済を持続的な形で発展させていきます。



ガイドツアー